

菜の花

伊豆の国市立長岡北小学校
Tel055-948-1062
学校だより 27/5/12 9号

平成27年度学校教育目標
重点目標



「心ゆたかに たくましく」
「めあてに向かって 挑戦する子」



防犯教室

5月7日(木)に1年～3年生までを対象に防犯教室が行われました。1、2年生は「ほっといず」というNPO法人の方、3年生はALSOKの職員の方に指導をしていただきました。



1. 2年生は犯罪に巻き込まれないための約束事、3年生は留守番に対する心構えをそれぞれ『いかのおすし』『いいゆだな』をキーワードに、学びました。

1 キーワード『いかのおすし』

このキーワードは、犯罪に巻き込まれないための約束事を5つのポイントを取ったものです。

- (1)【イカ】 いかない 知らない人にはついていかない 危ないところにはいかない
- (2)【の】 のらない 知らない人の誘いにのらない 知らない人の車にのらない
- (3)【お】 おおごえでさげぶ 危なかったらおおきな声で叫ぶ
こわかったらおおきな声で叫ぶ
- (4)【す】 すぐ逃げる 人のいるところにすぐ逃げる 近くの家へすぐ逃げる
- (5)【し】 しらせる 周りの大人にしらせる



2 キーワード『いいゆだな』

キーワードの『いいゆだな』 留守番前に気をつける5つのポイントの頭文字を取ったものです。

- (1)「いえのカギを見せない」は、家の鍵を犯人に見せて留守宅に帰ると悟られないようにする。
- (2)「いえのまわりをよく見る」は、家に入るときに後をつけて侵入する人がいないかよく確認する。
- (3)「ゆうびんポストをチェック」は、留守だと思われたり個人情報が出たりするのを避けるために郵便物を確認する。
- (4)「だれもいなくても『ただいま!』」は、近くに潜んでいるかもしれない犯人に対して家の中に人がいると思わせる。
- (5)「なかに入ったらすぐ戸じまり」は、防犯の基本である戸締まりをしっかりする。



現在、日本ではこれまででは考えられない事件も起こっています。このような事件がこの近くで起こっても不思議ではありません。このキーワードは4年生以上の子どもたちも教わった内容だと思います。今一度、思いだし防犯の意識を高めていきましょう。また、これを機会にご家庭でも不審者等の対応について家庭で話題に出してもらえたいです。

民生委員さんと語る会

皆さんがお住まいの地域に、民生委員・児童委員と呼ばれる方々がいるのをご存じですか。

この方たちと学校職員が、5月8日（金）に顔合わせと地域の情報や学校の情報の情報交換をしました。

北小学区の民生委員

谷戸区	富田様
仲之台区	室伏様
鳥打区	杉尾様
町屋区	重田様
大北区	今井様
長塚珍野区	関野様
千代田東西北1-3	鈴木様
千代田北5-11	岩崎様
主任児童委員	浜村様

○民生委員さんの役割

「民生委員」さんは、民生委員法に基づいて厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。社会福祉の増進のために、地域住民の立場から生活や福祉全般に関する相談・援助活動を行っており、創設90年以上の歴史を持つ制度です。また、全ての民生委員は児童福祉法によって「児童委員」も兼ねており、妊娠中の心配ごとや子育ての不安に関する様々な相談に応じたり、支援をしています。

核家族化が進み、地域社会のつながりが薄くなっている今日、子育てや介護の悩みを抱える人や、障害のある方・高齢者などが孤立し、必要な支援を受けられないケースがあります。そこで、民生委員・児童委員が地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役を務めます。



このような活動をされてる方たちです。何かありましたら相談してみてください。学校もこの方たちと必要に応じて連携を取らせてもらっています。

民生委員さんから

民生委員さんたちから次の注意事項がありました。「ある日の下校時間帯、北側の道路へお迎えにいらっしゃった保護者がいました。その子どもが保護者のもとへ行くときに、保護者の方しか目に入らなかったのでしょうか。別の車に接触しそうな場面がありました。」という話をされていました。

そこで、学校としては「保護者が迎えにいらっしゃった場合は校舎北側に駐車していただくよう伝えます。」とお答えしました。もし、用事があってお子様を迎えに来るような場合は校地内の北側の駐車場をご利用ください。

避難訓練2

授業時間内に非常に強い揺れが発生し、大津波警報(津波警報)が発令されたことを想定して屋上に避難する訓練を実施しました。

子どもたちは4月にも訓練をしていたため、非常にスムーズに移動ができ、3分で全員が屋上に避難することができ、4分で人数確認まで終了しました。

田方地区内でも津波に対する訓練を実施している学校は土肥地区を除けば本校だけだと思います。放水路から海水が入り込むという想定の下、このような訓練を行っています。学校以外の生活でも、「大津波警報(津波警報)」が発令されたらどのような行動を取るのかについて考えてみてください。

